



掬泉だより 大泉高等学校

第2回中学生体験学習

令和2年11月30日(月)発行 No.6

「第1回中学生体験学習」に引き続き、蜜を避け感染症対策を十分に施し、第2回中学生体験学習を実施することができました。

農業関連学科の生物生産科では、鉢カバーの制作やバーバリウム(Barrium)の制作、グリーンサイエンス科では、観葉植物である「三角柱サボテン」の無菌培養実験やシモンイモとカボチャを使用した「どら焼き」の製造、食品科学科では、プリンとマドレーヌの製造やエステル結合の実験を体験してもらいました。普通科では、数学と社会の特別授業を体験していただきました。

また、体験学習終了後、部活動体験にも参加していただきました。硬式野球部や女子バレーボール部、女子ラグビー部、レスリング部、男女バスケットボール部で部活動体験や見学をしていただきました。

新型コロナウイルス感染症対策のために、第1回と同様に蜜を防ぎながら短時間での開催でしたが、中学生の皆様には本校の特色や魅力について理解していただけたものと思います。



特色ある授業



11月9日(月)には、普通科2年生の日本史Bを学んでいる生徒が、小泉神社へ訪問し地域の文化財や歴史を学びました。小泉稲荷は「社日様」として親しまれ、また農業の神様としても有名であり、縁日には北関東一帯から参拝者が訪れました。沿道は鎌や鍬等の農具の販売や出店で大賑わいだったようです。見学当日は井上神主様より、拝殿にて神社の沿革や本殿の装飾についてご説明いただきました。地域の文化財について学ぶ貴重な機会となりました。



11月17日(水)に、火縄銃が本校に来ました。これは、本校普通科3年の日本史の授業で、「歴史とは何か」と題して行われた特別授業でのことです。館林市教育委員会(文化振興課)の方を講師としてお招きし、考古学や歴史学の役割等について学習し、須恵器や土師器に触れながら演習形式で学びました。昨年度に引き続いて、火縄銃も持参していただき、直接触れながら銃をかまえることもできました。火縄銃の重みに驚きながら歴史の魅力も学ぶことができました。



食品科学科では2年生が、11月25日(水)と12月9日(水)の2日間に分けて全国食肉学校見学と校内で製パン実習を行いました。食肉学校の見学では、枝肉の解体を見学したり、ベーコンやソーセージの製造を体験することができました。枝肉や施設の規模に圧倒されたり、実際のプロの手さばきに驚いたり充実した見学会になりました。また、校内の製パン実習では、生徒一人一人が食パン1斤を製造しました。

長寿命化改修建築工事

本校南棟・本館棟・家庭科棟の長寿命化改修工事が年内をもちまして終了いたしました。

この工事に伴い、近隣住民の皆様や保護者の皆様には、ご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。おかげさまで、事故もなく無事に終了することができました。

テニスコート防球ネットや学校外周のフェンスの改修工事等が行われ、本校の教育環境も整いつつあります。

今後も生徒が安心・安全な環境で学べるよう整備して参ります。

